



本部／組合員会館 〒690-0017 松江市西津田1丁目10-40

商品センター 〒693-0043 出雲市長浜町516-41

松江北支所 〒690-0871 松江市東奥谷町362-1

松江南支所 〒699-0111 松江市東出雲町意宇南3丁目1-1

出雲支所 〒693-0058 出雲市矢野町487-1

雲南支所 〒690-2404 雲南市三刀屋町1249

大田支所 〒694-0064 大田市大田町口1177-1

浜田支所 〒697-0006 浜田市下府町327-135

益田支所 〒698-0041 益田市高津6丁目15-49

隠岐出張所 〒685-0021 隠岐郡隠岐の島町岬町川原田の一20

●生協しまねホームページ
<https://www.coop-shimane.jp/>



●生協しまねInstagram
https://www.instagram.com/coop_shimane/



事業・社会・環境活動についての報告書

CSR REPORT 2024



おかげさまで40周年
40th Anniversary
共に生き
 共に創る豊かな暮らし



CSRレポート発刊にあたって

理事長 安井 光夫



ビジョン「共に生き、共に創る豊かなくらし」実現は、SDGsが目指す世界と重ね合わせることができます。CSR Report 2024「事業・社会・環境活動についての報告書」は、SDGsという物差しを通じて、この1年間の自分たちの活動の歩みを検証したものです。SDGsは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を創りだしていくための道しるべです。

終わりの見えないロシアによるウクライナ侵攻の影響は続き、小麦粉をはじめとする穀物が輸出できない状況にあります。また、イスラム組織ハマスによるイスラエルへの無差別攻撃と民間人拉致で始まったイスラエル・ガザ紛争は、イスラエルによる報復攻撃により大規模軍事衝突へと拡大し、既に双方で3万人以上の犠牲者が出ています。

中国をはじめ世界的な景気は減速し、経済の停滞は生産意欲の後退につながっています。産油国は原油の値下がりにより歯止めをかけるため、原油生産を抑制した結果、原油の品薄状態を引き起こしガソリン価格は170円/ℓ前後と高騰しています。中東から石油の90%を輸入している日本は、中東の情勢（イスラエル・ガザ紛争）によっては輸入が途絶える危険性もはらんでいます。事業を進めるうえで燃料価格の推移は重要で、引き続き注視していく必要があります。

32年振りとなる1ドル＝150円台となる円安に、歯止めがかからない状態が続いています。円安による輸入コストの上昇により企業業績は圧迫され、家計にも影響が及び今年度においても一層消費は冷え込む見通しです。

地球温暖化による異常気象を起因とする世界的な水不足、干ばつ、集中豪雨が世界各地で発生しています。国連 アントニオ・グテーレス事務総長は「地球は沸騰化の時代に入った」と述べています。過剰な暑さは主に化石燃料の使用と関連していることは明らかであり、気候変動は「存続にかかわる脅威」であり「気候変動の影響を否定できる人は誰もいない」とジョー・バイデンアメリカ大統領も言及しています。

最後になりますが、今年度は記念すべき創立40周年の年でもあります。私たちの取り巻く社会環境は引き続き厳しさを増し「世界情勢の緊迫と物価高騰」の元での事業経営になりますが、組合員のくらしに寄り添い、「共に生き、共に創る豊かなくらし」実現に向け、引き続き最大限の努力を払っていきます。そして、エシカル消費の推進と地球温暖化対策、子供の貧困問題、戦争のない平和な世の中の実現等の課題を掲げ、「観客ではなく選手」として、積極的に取り組んでいきます。今年度もよろしくお願いします。

生協しまねの概要

■名称	生活協同組合しまね	■事業所	支所7カ所 商品センター・隠岐の島出張所
■本部	〒690-0017 島根県松江市西津田1丁目10-40	■2023年度概況	○組合員数 72,201人
■理事長	安井 光夫		○供給高 93億 255万円
■設立	1984年11月19日		○出資金 30億6,591万円
■事業活動エリア	島根県内		○職員 298人

生協しまねビジョン (2017年第33回通常総代会決議)

共に生き 
共に創る豊かなくらし

はじめに

私たちは、生協しまね2000年ビジョン「想いをかたちに～共に創る豊かなくらし」を掲げ、「一人ひとりが自分らしく生きる」ということを活動の指針とし、「くらし発」の事業や組合員活動に取り組んできました。

そして、ビジョンのもとでの活動は、「人と人との関わりがより豊かになればなるほど、新たな活力、元気が生まれ、豊かなくらしづくりへとつながっていく」ことを導き出しました。現に、班をはじめ生協の集まりの場では、お互いに自分の想いを発信しながらも、その場をより良いものにするためのはたらきかけが生まれています。それは、お互いを「思いやる心」の循環を生み出して「共に生き、共に創る」共存在の居場所づくりにつながっていきます。

一方で、急速な少子高齢化・人口減少、コミュニティの衰退、くらしや「食」の市場化等が人々の孤立を招き、私たちを取り巻く社会は見通しの立てづらい不安に満ちた状態です。とりわけ、くらしの根本である日常的な「食」が、ないがしろにされるような傾向は事態の深刻さを端的に示しています。

私たちは、このような中であって組合員・生産者・職員と共に、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。

そして、つながりを通じてお互いの存在とくらしを認め合い、尊重し合える関係の中で「一人ひとりの自分らしくくらしづくり」に軸足を置き、「私たちの未来は、今のくらし振りから生み出される」ことを自覚しつつ進みます。

さらに、さまざまな「場」においては、お互いの当事者感覚を大切にしながら「共に生き、共に創る」組織として連携と協同を広げ、誰もがくらしやすい社会を創り出していきます。

ビジョンを実現するうえで大切にしたいこと

1. 私たちは、一人ひとりが「自分らしく生きる」とことと、人との関わりをより豊かにすることを大切にしていきます。
2. 私たちは、おしゃべりから生まれる知恵や元気、安心感、共感を大切に、新しいくらしづくりにつなげていきます。
3. 私たちは、安全安心な「食」を基本にして、一人ひとりの「くらし発」の想いや工夫を交流し、つなぎ、より豊かな「食文化」を創っていきます。
4. 私たちは、安心して住み続けられる地域をめざし、他団体や行政などと連携・協同して、新たな生協の役割を創っていきます。
5. 職員は、組合員から得たくらしの知恵や工夫をつなぎ、循環させて、組合員のよりよいくらしづくりに役割を発揮します。

2023年度方針

- 1 日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。そのためには、普段の暮らしを持ち寄ること、特に商品を真ん中にしたくらしのおしゃべりは、共感や発見、そして「自分らしく生きる」ことにもつながり、人間の持つ社会性を育む上でも大切なことだと考えます。
- 2 「共に生き、共に創る」組織として、「つながる」ことを基本とした生協の運営や事業は益々重要です。職員も組合員も取引先も共につながって、ビジョン実現に向け活動していきます。
- 3 人と人との関係性が希薄化する中、地域社会において、連携する力、つなぐ力、つながる力を高め、新たな関係性を生み出していきます。そして誰もが安心してくらし続けることができる持続可能な地域社会をめざしSDGsをさらに進めていきます。
- 4 県内農業への支援、農産物の普及をめざし、農産物の集荷・出荷機能を高めると共に、新たな物流の構築と障がい者雇用の拡充を目標に「(株)まい・しまね流通ラボ」を強化していきます。
- 5 2024年11月で創立40周年を迎えます。地域や組合員、役職員と共に40周年を祝い、つなぐ力、つながる力で未来を切り開いていきます。そのために、2023年度は40周年記念行事など具体的な準備活動を行っていきます。

食の安心と安全を創り出す方針

～生協しまねは、組合員・メーカー・生産者といっしょになって「食の安心・安全を創り出す」ことを大切にすすめていきます～

(2010年6月22日 第26回通常総代会決議)

はじめに

一連の食品偽装やギョーザ事件など「食」に対する不安から生協への信頼もゆらぎました。
また、国内の食料自給率(カロリーベース)は40%前後で推移し食料の多くを海外に依存している状況があります。
このような状況に対して、信頼関係に基づき取り組んできた産地提携や産地交流に加え、品質管理を強化してきました。
『「安心・安全」は誰かが与えてくれるものではなく、組合員・メーカー・生産者が一緒になって創りあげていくもの』ということを改めて確認し、「食の安心・安全を創り出す」方針とします。

1. 食品の安全性を担保するための科学的な基準と品質を保証する体系(品質管理、物流管理、危機管理等)に基づいた取り組みを進め、その進捗状況を確認・点検をしていきます。
2. 輸入原料や外国産商品への理解や、安全性の確保の取り組みをすすめます。
3. 「生産ー消費」をつなぐ産直活動の推進や、県内産原料を使った生協商品の利用を通じて、国内自給率(国内自給力)の向上や地産地消の取り組みをすすめます。
4. 組合員自身が商品について、自分で判断し選択できるようにわかりやすい情報を提供し、体験学習・交流の場をつくっていきます。
5. 「食」や「食料自給率(食料自給力)向上」等の課題について、行政や各協同組合と力を合わせて地域で一緒に考える場への積極的な参加とともに、場作りについて努力します。

2023年度「微生物検査」と「残留農薬検査」について

微生物検査

生協しまねの開発商品^{※1}は、食中毒の主な原因となる各種細菌^{※2}について、年間計画で対象商品と検査月を決め、コープCSネット^{※3}に委託して検査を実施しています。2023年度は28件を実施し、全て基準値内で問題のないことを確認しました。

残留農薬検査

生協しまねの産直農産物は、『産直基準書』の中で「農薬の使用は、農薬取締法の安全使用基準『使用農薬基準』を遵守していること」としています。生協しまねでは、各産直農産物の収穫に合わせて年1回、コープCSネットに委託して残留農薬検査を実施しています。2023年度は26件を実施し、全て基準値内で問題のないことを確認しました。

こうした定期的な検査を毎年実施し、今後も安全な商品のお届けに努めていきます。

※1: まい!しまねの牛乳、まい!しまねの1.0低脂肪牛乳、ヨーグルトプレーン、県内産大豆100%もめんとうふ、まい!とうふじゅうてんくんなど7品
※2: 一般生菌数、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌
※3: コープCSネット品質保証部商品検査課(広島市東区)

SDGsに対する生協しまねの考え方

SDGs(エスディージーズ:持続可能な開発目標)は、国連に加盟する全ての国々(193カ国)で「今、全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、発展途上国・先進国に関わらず、世界中の全ての人々が目指すべきゴールです。“誰一人取り残さない持続可能な社会”の実現を目指して2016年1月をスタートとし、2030年までに、今、生きている人々だけでなく何世代も先の人々が、この地球で人間らしく暮らし続けられるための必要な17の目標が掲げられ、その達成のための取り組みが世界で進められています。

生協しまねビジョン「共に生き、共に創る豊かな暮らし」実現は、SDGsが目指す世界と重ね合わせることができます。また、SDGsは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を創りだしていくための道標でもあります。

私たち、一人ひとは、日々の暮らしの中で社会とのつながりを意識し「観客ではなく選手」として、エシカルな選択ができるよう学び、交流し、実践していきます。



CONTENTS

生協しまねが取り組んでいる事業・活動の中で、SDGs実現に関連する事柄に、それぞれSDGs(17の目標)のアイコンを掲載しています。

P5-8 誰もが安心して暮らせる地域づくりのために 1 貧困をなくそう, 2 飢餓をゼロに, 3 すべての人に健康と福祉を, 11 住み続けられるまちづくりを, 17 パートナリシップで目標を達成しよう ・各地域での生産者・取引先との交流 ・おしゃべりくらぶ・子育てくらぶ・サークル ・子育て世帯への応援 ・『とれとれいわしたき身』料理コンテスト開催 ・フードバンクしまね「あったか元気便」 ・「夕食宅配」「介護食・健康管理食」 ・リーディングサービス	P9 復興支援・地域連携 3 すべての人に健康と福祉を, 11 住み続けられるまちづくりを ・能登半島地震支援 ・益田市との「地域活性化包括連携協定」締結 ・匹見町匹見下地区での取り組み	P10 世界中の人々が平和で健康な生活を送るために 16 平和と公正をすべての人に ・折り鶴昇華再生活動 ・ピースリレー ・ピースアクション ・戦争体験を語り継ぐ集い ・ユニセフ募金
P11-12 持続可能な生産と消費のために 8 働きがいも経済成長も, 12 つくる責任つかう責任, 15 陸の豊かさも守ろう ・「産地直結」の取り組みについて ・もすく基金 ・コアノンロール学習会 ・エシカルチャレンジの実施 ・声に応じて「ひとことカード」 ・「お申し出受付カード」…商品苦情	P13 未来の地球のために 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 12 つくる責任つかう責任, 13 気候変動に具体的な対策を, 14 海の豊かさを守ろう, 15 陸の豊かさも守ろう ・電気使用状況 ・車両燃料使用状況 ・リサイクル活動 ・生協しまねソーラー発電所 ・環境支援活動	P14-16 人にやさしく誇りがもてる組織を目指して 5 ジェンダー平等を実現しよう, 8 働きがいも経済成長も ・職場の安全・安心 ・品質マネジメントシステムの取り組み

私たちの暮らしの中でもっとも大切なことのひとつに、“食”があります。“安心・安全”は誰かが与えてくれるものではなく、組合員・メーカー・生産者と一緒になって創り上げていくものという考えのもと、お互いが理解し合う取り組みを行っています。

各地域での生産者・取引先との交流

隠岐の島

エリア委員会

『隠岐漁師のあらめ』隠岐の島づくり(株)への訪問

隠岐の島エリア委員会が『隠岐漁師のあらめ』でお馴染みの「隠岐の島づくり(株)」の見学を企画し、組合員9名が参加しました。隠岐の島で行われた初めての工場見学になりました。隠岐の島の組合員のみなさんにとっては馴染み深い『あらめ』ですが、工場を見るのは初めてという方が多くいらっしゃいました。

時間をかけて丁寧に製造されていらっしゃる事が分かり、隠岐の特産物として自信を持って勧めていきたいと思いました。また、調理を工夫し、日常的に食べるようにしたいです。



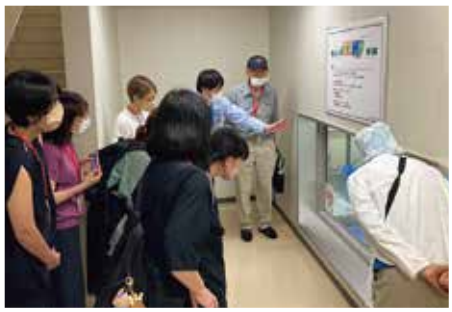
松江北支所

エリア委員会

『なかやま牛』(株)なかやま牧場産地見学

松江北支所エリア委員会は、産直提携先である、なかやま牧場の生産者のリアルな声を聞き、商品への理解を深めたいとの想いから、広島県福山市にある産地への見学を企画しました。なかやま牛のこだわりを学習したり、工場を見学しました。

牛の肉を部位別に切り分けていく作業を見学し、一つひとつが“命のリレー”であると感じました。次回より、食べるときに感謝の意をもって食したいと思いました。



出雲支所

エリア委員会

『まい!しまねの牛乳』島根中酪(株)への訪問

出雲支所エリア委員会は、地元の商品でもある『まい!しまねの牛乳』について製造工程を知りたいとの想いから、製造メーカーである島根中酪(株)へ訪問しました。また、お子さんの学習機会になるようにと夏休みに企画し、たくさんの親子が参加しました。

近くに住んでいても、なかなか地元企業のようなすは知り得ませんが、今回の企画で工場内のようなすを見たり説明を受け、より一層、地元企業を応援したいと思いました。おいしい牛乳を作るためのいろいろな取り組みや管理が分かりました。これから安心していただけます。



大田支所

エリア委員会

『産直こめたまご』(有)旭養鶏舎への訪問

大田支所エリア委員会は、おいしさの秘密や鶏の育つ環境について知りたいとの想いから、(有)旭養鶏舎への訪問を企画しました。鶏の健康チェックを毎日欠かさないこと、流通できない卵も加工して無駄にしないこと、採卵から全て機械化することで衛生管理に気を付けていることなどを学びました。

室内の温度管理も徹底され、厳しい管理のもと私たちに安心、安全な卵を常に届けていただいている事を実感しました。



浜田支所

エリア委員会

味の素冷凍食品(株)お招き企画

浜田支所エリア委員会では、『1.5倍大きいギョーザ』などのおいしさの秘密や安心・安全への取り組みについて知りたいとの想いから、味の素冷凍食品(株)お招き企画を開催しました。リスク管理がしっかりしていることを説明いただき、安心・安全が確認できました。

原料にこだわり、衛生的に管理・配送されていることがわかり、これから安心して食卓に出すことができると思いました。



益田支所

エリア委員会

石光商事(株)お招き企画

益田支所エリア委員会は、コーヒーのおいしい淹れ方や選び方などを学びたいとの想いから、石光商事(株)お招き企画を開催しました。実演いただきながらおいしい淹れ方を教わり、いつも飲んでるコーヒーが深い味わいに変化しました。

温度や淹れ方など、とても参考になりました。みんなで楽しくお話をしながらおいしいコーヒーを飲めてよかったです。SDGSにも関わる「レインフォレストアライアンス認証マーク」についても聞き、そのマークがついた商品を注文したいと思いました。



誰もが安心して暮らせる 地域づくりのために

おしゃべりくらぶ・子育てくらぶ・サークル

楽しくおしゃべりすることが日々の活力や暮らしの豊かさにつながります。人と人がつながる場を応援するため、おしゃべりくらぶ、子育てくらぶ、サークルの結成を後押ししました。

おしゃべりくらぶ「さくら」

生協の班のメンバーで結成しています。いつもみんなと顔を合わせるのが楽しみです。おたのしみ商品(試食品)が届くことでおしゃべりが盛り上がり、笑顔が絶えません。活動補助費をいただきお食事会もでき、絆がますます深くなりました。



子育てくらぶ「あおあおりと」

第一子、第二子とも年齢が同じなので、悩み事も似ていて、子どもの睡眠のこと、トイレトレーニングについての悩みなどを共有しています。みんなが共感してくれるので、安心することができます。月1回のこのくらぶは、息抜き時間です。



サークル「出西 陶芸クラブ」

お皿や箸など、自分の作りたいものを自由に作っています。メンバーの一人がサツマイモを焼く陶器づくりに挑戦したことが印象に残っています。陶芸の先生と一緒に何度も試作を繰り返し、やっと完成したときはみんなで喜び合いました。



子育て世帯への応援

子育て中のお父さん・お母さんが人と人とのつながりの中で安心して子育てできるように、定期的に集まる場を設けました。

東部エリア理事会企画「ままがふえ」



2023年度は、離乳食商品のお試し会やXmas会など、計4回開催しました!

子どもが年齢の近いお友だちと元気がいい姿を見ることができ嬉しかったです。

西部エリア理事会企画「プレ子育てくらぶ」



2023年度は、離乳食・生協商品を囲んでのおしゃべりの場を計5回設けました。この場を経て、子育てくらぶが1つ結成されました。

他のお子さん、ママさんたちと楽しく活動することができて良かったです。

『とれとれいわしたたき身』料理コンテスト開催

商品の良さや暮らしの中での役立ちを発信する活動をしている「くらしをつなぐ委員会」では、『とれとれいわしたたき身』の良さを組合員に広げたいとの思いから、9月に料理コンテストを開催しました。26名の組合員のみなさんから応募がありました。

役職員で投票を行い、絞り込んだ4品を実際に作って試食し、グランプリ、準グランプリを決定しました。試食審査会では、製造メーカーである(株)大新の山本社長と食品部の池淵さんにお越しいただき、一緒に審査をしていただきました。



グランプリ

ふっくらとれとれいわしのハンバーグ



準グランプリ

とれとれいわしのはさみ揚げ



準グランプリ

とれとれいわしのお好み焼き



準グランプリ

夏野菜のトマト煮



フードバンクしまね「あったか元気便」

家庭や職場で使用しない食品を集めて生活困窮家庭へ届けるフードバンクしまね「あったか元気便」。地域つながりセンターをはじめ諸団体と共に取り組んでいます。現在は20校の小・中学校を対象するまでに広がりました。9月には組合員のみなさんに「フードバンク支援募金」を呼びかけ総額38万3,200円の募金が寄せられました。



「夕食宅配」「介護食・健康管理食」

「夕食宅配」のお届けは、見守り応援の役割を果たす一面もあります。現在1日あたり約1,600食をお届けしています。また、2020年より「介護食・健康管理食」のお届けをスタートしました。現在1日あたり約40食をお届けしています。



リーディングサービス

カタログ「CIEL」「だいすき」などの商品名、価格などを読む声をCDに吹込み、『聴くカタログ(声のシエル)』を作成しています。目の不自由な方、買い物に不自由を感じていらっしゃる方などにご利用いただいています。



能登半島地震支援

2024年1月1日、巨大な地震が能登半島を襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。日本生協連を通じてコープいしかわから人的支援の要請があり、2月から3月にかけて職員2名を派遣しました。また、組合員みなさんに募金を呼びかけたところ、1,111万3,484円が寄せられました。いただいた募金は日本生協連を通じて、被災地支援のための活動に活用されます。



支援期間:2月5日(月)~2月9日(金)

コープいしかわ「のとセンター」の職員のトラックに添乗して配送支援を行いました。この1週間、配達を早く終え職員に身体を休めてもらうことが自分の役目だと思い添乗しました。添乗した職員の方に「今週が一番身体が休まりました」と言っていただきました。大きなことはできませんが、目の前の人・目の前のことに自分ができるところをすればいいんだと気づかされました。



出雲支所 嘉藤 直樹

支援期間:3月4日(月)~3月15日(金)

初日にコープいしかわの職員に添乗して配送業務を習得した後、他生協の職員とペアになって配送を行いました。配達先は被害の少なかった市内部でした。お会いできた組合員からは「遠くからわざわざ来てくれてありがとう」と声をかけていただきました。もっと自分にできることはないか…と自問自答する2週間でした。



松江南支所 加茂 琢也

益田市との「地域活性化包括連携協定」締結



2024年2月21日、益田市における様々な課題を密接に連携することで解決を図るため、益田市と「地域活性化包括連携協定」を締結しました。これを契機に、双方の資源を有効に活用し、災害対策、高齢者等の見守り、子育て支援、その他、地域社会の活性と住民サービスの向上等に貢献していきます。

匹見町匹見下地区での取り組み



益田市匹見町匹見下地区に暮らす住民自ら、「生協を買い物支援対策として利用したい」と声をかけていただきました。公民館まで商品を届け、そこから地域の方が見守りを兼ねて各家庭に届ける仕組みを試験的に進めています。今後、ますます増えると思われる同様の地域課題に対してのモデルケースとなるよう、取り組みを進めています。

折り鶴昇華再生活動

世界中から広島市の平和記念公園に届けられる折り鶴を再生原料になるよう分別し、ノートやカレンダーなどの商品化に役立てる「折鶴昇華再生活動」は2023年度で8年目となりました。今年は26件、180人以上が参加し、210kg以上の折り鶴が分別されました。



夏休みだったので、町内の子供会行事の一部に入れていただきました。分別作業を行う前に千羽鶴を折った佐々木貞子さんの本を読みましたが、子どもたちもそれなりに感じてくれていたようでした。

南天神班(松江南支所)と
地域の子ども会での取り組みのようす

ピースリレー



7月16日、米子市にて『ピースリレー』日本海コースの平和行進・引継ぎ式を行いました。島根県からは12名が参加し、平和を訴えました。

ピースアクション



8月4日~5日にかけて広島県で2023ピースアクションINヒロシマが行われ、生協しまねからは2家族5名、総勢8名が参加しました。2日間に渡り平和について学びました。

戦争体験を語り継ぐ集い



12月17日に『戦争体験を語り継ぐ集い』を開催しました。西尾幸子さんの実体験をもとにつくられた朗読劇「さあちゃんとヒロシマ」を上演しました。

ユニセフ募金

〈ミャンマー指定募金〉

2023年10月9日~27日の期間、『ミャンマー指定募金』の協力を組合員みなさんをお願いをしたところ、584,300円の募金が寄せられました。寄せられた募金は、1月末に日本ユニセフ協会へ送金しました。

〈パレスチナ・ガザ地区 緊急支援募金〉

2024年1月8日~2月2日の期間、『パレスチナ・ガザ地区 緊急支援募金』の協力を組合員みなさんをお願いをしたところ、607,600円の募金が寄せられました。寄せられた募金は、3月末に日本ユニセフ協会へ送金しました。

みなさまからのご協力で心からお礼申し上げます。

コープの
まい!
産直

「産地直結」の取り組みについて

生協の産直は、「産地直結」を意味しています。生産者・メーカー、組合員、職員がお互いに顔を合わせ、理解を深めることを大切にしています。

寒波に見舞われた『天草晩柑』[天草ジュース出荷組合]

2023年1月24日から3日間にわたって熊本県天草を襲った強い寒波によって、園地は壊滅的な被害を受けました。2023年6月の通常総代会では、当時の被害状況と今後の見通しをお話いただきましたが、寒波が次年度の天草晩柑の食味・収穫量にどの程度影響してくるか分からないとのことでした。2024年2月に行ったオンライン交流会では、寒波によって木が弱っており平年の7～8割ほどしか実がなっていないものの、味は順調に酸抜けし、おいしくできているとの報告があり、参加者一同胸をなでおろしました。



産地である天草と浜田支所、益田支所、本部をオンラインで繋ぎ、交流しました。



収穫体験[リサールベルデ]



産直商品である『泥付き白ネギ』の収穫は手作業で行っているため、労力がかかります。産地応援の意味を込めて、組合員に収穫体験を呼びかけました。

田植え&稲刈り体験

[JAしまね出雲地区本部・旭養鶏舎・福田ファーム]



『産直こめたまご』の鶏のエサとなる飼料
用米の田植えを5月に、稲刈りを10月に行い
ました。

生産者交流会[津軽産直組合]



津軽産直組合の組合長、斉藤さんと若手生産者3名にお越しいただき、松江、出雲、隠岐の3会場で組合員と交流しました。

職員產地訪問[津軽産直組合]



職員4名が青森県にある津軽産直組合に訪問し、葉とらすりんで『葉っぱー』と『赤石さんの土付きごぼう』の園地を訪れ、視察・栽培体験を行いました。

もずく基金

もずく基金対象商品を購入いただくと、1点につき1～2円がもずくの産地である沖縄県恩納村漁協が取り組む『サンゴ礁再生事業』に活かされます。2023年度コープCSネット全体の基金額は、244万3,799円でした(生協しまねの基金額は14万5,887円でした)。



コアノンロール学習会[松江南支所エリア委員会]



コアノンロールを
使うだけで、何気
なくSDGSに参
加できているとい
うことで嬉しくな
りました。

松江南支所のエリア委員会では、2023年度の活動目標「生協のSDGsの取り組みを組合員へ発信する」をテーマに1年を通して学習しました。9月にはコアノンロールがどのようにSDGsに貢献しているのか、製造メーカーの西日本衛材(株)をお招きして学習会を行いました。

エシカルチャレンジの実施



「誰かの笑顔につながるお買い物」、この言葉が目に残りました。対象商品がたくさんあることも発見でしたし、自分でも「これなら少しずつできるかな?」と意識を持つこともできました。

くらしの中にある「エシカル消費」に自分事として意識を持っていただけるよう「エシカルチャレンジ」への参加を組合員に呼びかけました。「エシカル消費対象商品」を購入し、エシカルマークを3枚以上集めるチャレンジに173名の方が応募してくださいました。

声に応えて「ひとことカード」

「ひとことカード」からは、くらしの様々な場面から生まれてくる実感のこもった声が寄せられます。一人ひとりの声から、くらしの背景や起こったことをさらに聴くことで、共感が生まれ、“かたち”になります。声を受け止め、生協しまねの独自カタログ「だいすき」で企画したり、改善につなげていくことが共に創る豊かなくらしの一步につながります。

組合員から寄せられる商品の声、運営に対する声に、100%お返事ができるように取り組んでいます。

	2022年度	2023年度
受 付 件 数	1,655件	1,514件
回 答 件 数	1,655件	1,514件
回答率(%)	100%	100%

(2024年5月2日集計)

「お申し出受付カード」…商品苦情

組合員からのお申し出(商品苦情)については、調査の上、文書で回答することを基本にしています。2023年度の受付件数は444件で前年比93.5%(31件減)。コープCSネット企画(以下、CS)は378件で前年比100.0%(増減なし)、生協しまね独自企画(以下、独自)は66件で前年比68.0%(31件減)。

平均回答日数は、CSが13.1日(前年同期12.8日)、独自が12.8日(前年同期13.2日)。何れも目標の14日以内を達成しました。

これからも支所と本部が連携して誠実な対応、迅速な調査・回答に努め、商品の品質改善につながるよう取り組んでいきます。

●受付状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受付数(件)	523	714	583	475	444
前年対比(%)	98.3	136.5	81.7	81.5	93.5

◎2023年度部門別お申し出件数

部 門	CS企画									独自企画
	農 産	水 産	畜 産	日 配	食 品	その他 （生鮮野菜・ゆめかき ・りんごなど）	食品計	非 食	計	たいすき・スコー ル・くろひち生協・ タカシロ配分
件数 ※()は前年	101 (84)	22 (33)	19 (19)	72 (65)	34 (38)	20 (15)	268 (254)	110 (124)	378 (378)	66 (97)
構成比(%) ※()は前年	37.7 (33.1)	8.2 (13.0)	7.1 (7.5)	26.9 (25.6)	12.7 (15.0)	7.5 (5.9)	100 (100)			



未来の地球のために

事業活動、省エネ、CO₂削減の取り組み

地球温暖化防止に向けて 温暖化防止自主行動計画

生協しまねは、全国の生協と「地球温暖化防止自主行動計画」を策定し、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。
2023年度の二酸化炭素(CO₂)排出量は、1,593トンでした。(前年比103.7%)

1. 電気使用状況

23年度の電気使用量(推計値)は1,705,118kwh(前年対比101.5%)で前年を上回りました。使用量の63.2%を共同購入の施設が占めています。
※全体消費電力量の約1／3を占める商品センターの削減が課題です。

	2023年度	2022年度	前年比(%)	構成比(%)
共同購入	1,077,672	1,068,035	100.9	63.2
商品センター	551,195	527,177	104.6	32.3
本 部	76,251	83,985	90.8	4.5
全 体	1,705,118	1,679,197	101.5	100.0

(単位:kwh)

2. 車両燃料使用状況

生協しまねは、共同購入が事業の中心であり、生協全体の車両燃料使用の大部分は配達車両によるものです。商品配達に欠かせないトラックですが、燃料使用、排出ガスなどの効率化による走行距離削減やエコドライブの推進などにより削減に努めました。
①しくみ(マップシステム)を使い配送コースを見直すことを継続して取り組みます。共同購入では、配送マップシステムを使用した配送効率改善とエコドライブの取り組みによる車両燃料の削減に取り組んでいます。
②20年度からは、LPG車両を廃止しました。

	2023年度	2022年度	前年比(%)	構成比(%)
軽油	191,097.9	191,960.5	99.6	87.4
LPG	0.0	0.0	—	0.0
ガソリン	27,467.6	24,787.4	110.8	12.6
全 体	218,565.5	216,748.0	100.8	100.0

(単位:ℓ)

3. リサイクル活動

共同購入では、毎週発行するチラシや商品を仕分けしている袋、牛乳パック、たまごパックを回収して「コープCSネットエコセンター」でリサイクルを行っています。

●リサイクル品回収実績(23年度累計)

	累計回収量(kg)	回収率(%)	前年比(%)
牛乳パック	20,035	59.2	90.6
共同購入袋	16,822	29.2	98.9
チラシ類	1,400,748	76.5	96.1
たまご容器	11,254	72.0	100.3

4. 生協しまねソーラー発電所

- 2013年4月からソーラー発電所を稼働。商品センター(出雲市長浜町)に1,190枚の太陽電池パネルを設置。(一般家庭の約70世帯分の電力に相当)
- 一年間の総電力量は285,954kwh、売電実績(金額)10,523,080円でした。



屋根の上と駐車場に設置された太陽光発電パネル

5. 環境支援活動



■うなぎ協力金の資源対策の取り組み

生協は産地のうなぎ資源保全のための調査・研究活動や取り組みを応援しています。「鹿児島県うなぎ増殖対策協議会」の活動に対し、2023年度は生協から以下の金額を寄付し、海に戻って産卵するうなぎを増やす取り組みに協力しました。(寄付金額:コープCSネット全体で317,581円)



■コープ洗剤キャンペーン環境寄付金確定報告

コープ洗剤8品目を対象商品のご利用1点あたり1円の協賛金を積み立て、「インドネシア領ボルネオ島小規模バーム農家の生産体制の改善支援」に役立てられます。
(基金額:コープCSネット全体で364,378円)



人にやさしく誇りがもてる組織を目指して

職場の安全・安心

1. 雇用・採用の状況

(1)雇用及び新卒採用の状況

○2023年度末の雇用状況及び新卒者の状況は以下の通りです。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
正規人数(前年差)	119(▲4)	161(+42)	172(+11)	179(+7)
定時人数 ※配送スタッフ含む(前年差)	126(+20)	119(▲7)	118(▲1)	117(▲1)
新卒採用	1	2	9	7
平均年齢	45.4	42.9	42.8	43.0

多様な働き方を支える新人事制度を2021年度から導入し、雇用転換や登用制度を引き続き実施しました。

※2021年度より正規人数は、ゼネラル職員・エリア職員・ジョブ職員の合計数

(2)障がい者雇用の推進

○「障がい者雇用の促進等に関する法律」により障がい者の法定雇用率は、令和3年から雇用人数に対して2.3%となりました。島根県における障がい者雇用は以下のような状況で、全国的に見ても雇用率は比較的高く、法定雇用率達成企業は全国でも高い水準となっています。
島根県の状況:障がい者雇用率2.83%(前年よりも0.14%増加、全国平均:2.33%)

※令和5年島根労働局職業安定部「障害者雇用状況調査結果の概要」より

(数値は、令和5年6月1日現在)

島根県の法定雇用率達成企業割合:69.6%(前年よりも2.0%増加、全国平均:50.1%)

○生協しまねの障がい者の法定雇用人数は5人となっていますが、現在の雇用数は1.0名です。引き続き障がい者雇用に向けた活動を推進します。

2. 労働安全衛生

(1)健康診断など職員の健康づくり

○産業医と協力しながら、職員の健康づくりに努めています。健康診断の実施、定期的な腸内細菌検査(検便)、法令でも義務化されたストレスチェック等も継続しながら、職員の健康状態を確認し改善に努めます。

(2)労働安全

○2023年度はISOの品質目標として数値目標をもって取り組みましたが、労働災害事故発生件数は9件(前年差+2件)でした。雨の日の転倒や荷台への飛び乗り降りの事故に対する注意喚起を促しました。また、熱中症対策として空調服の配布を引き続き行いました。○各事業所が月1回実施する「職場巡回チェックシート」の結果をもとに職場内の環境改善については、必要な対応を進めています。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
労働災害件数	10	8	12	18	7	9

3. ワークライフバランス

(1)総労働時間の短縮、時間外労働削減

○総労働時間は+15.1時間の増加となりました。支所責任者を中心に増加しました。効率的な仕事、生産性を高める仕事を目指して改善活動を行っています。
○時間外労働時間は、支所では前年より+2.0時間増加し、本部では前年より▲0.8時間減少しました。支所においては、業務の見直し活動(業務改善)を推進して削減に努めました。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
総労働時間(前年差)	2,021.1(+10.1)	2,034.7(+13.6)	2,167.9(+133.2)	2,183.0(+15.1)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
残業時間(前年差)	25,926時間(+1,529)	22,325時間(▲3,601)	38,196時間(+15,871)	40,312時間(+2,116)
1人あたり残業時間(前年差)	支所 26.6(+3.6)	23.0(▲3.6)	22.4(▲0.6)	24.4(+2.0)
	本部 11.9(▲2.8)	7.9(▲4.0)	8.9(+1.0)	8.1(▲0.8)

※22年度よりゼネラルにエリア・ジョブを含めた数値としています。

(2)有給休暇取得率の向上

○生協しまねでは有給休暇の取得率向上の取り組みを推進しています。2023年度の有給休暇取得率は以下表のようにゼネラル職員は▲15.9%減少しました。
エリア職員は▲3.5%減少、定時職員は▲5.8%減少しました。
23年度は、新型コロナウイルスが5類移行により濃厚接触者の扱いが変更となり、取得率が昨年より減少しました。
○令和4年厚生労働省の就労条件総合調査によると、労働者の年次有給休暇の取得率は62.1%(前年差+3.8%)となっています。生協しまねの取得状況は一般と比較すると高い水準となっています。今後も継続して取り組みを進めていきます。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ゼネラル職員(前年差)	67.0%(▲3.0%)	63.4%(▲3.6%)	93.6%(+30.2%)	77.7%(▲15.9%)
エリア職員(前年差)	81.0%(+9.1%)	79.2%(▲1.8%)	90.1%(+10.9%)	86.6%(▲3.5%)
定時職員(前年差)	70.9%(▲29.2%)	89.2%(+18.3%)	93.5%(+4.3%)	87.7%(▲5.8%)

4. ハラスメント対策の取り組み

○生協しまねでは、ハラスメント関連の相談窓口を管理部総務チームとしています。職員の人権を尊重することはもとより、より働きやすい職場環境の実現や維持のため、コンプライアンス、人間関係、迷惑行為など各種ハラスメント等の相談窓口を設けています。
○相談窓口については役職員全員に資料(ISOの取り組みで配布しているポケット版冊子)を活用しながら周知しています。

5. 個人情報保護の取り組み

○生協しまねでは、個人情報保護に関する法令および諸規定を遵守するとともに、2005年に「個人情報保護方針」を定め、組合員や職員等の個人情報の適切な保護や管理に努めています。この方針はHP等で外部にも公表しています。
○個人情報の保護や管理、事故発生時における迅速な対応ができるよう体制を整備するとともに、規程類も整備しています。これらの体制や運用管理の実務は管理部総務チームが中心となり、規程類の運用状況確認や事故報告の取りまとめをしています。体制面では、個人情報管理責任者を選任、各部署に個人情報管理者を任命・配置し、規程類の遵守に努めています。あわせて、毎年職員にも学習会を計画し実施して、個人情報の取扱いについて認識を維持するよう教育・啓発活動をしています。
○これらの遵守状況を点検するため、個人情報保護規程類にもとづく「内部監査」を実施し、必要な指摘をするとともにそれらの改善を進めています。

6. 労働組合との関係

○生協しまねは労使の十分な話し合いの下、協力して目的の達成に向けた努力ができる環境づくりを推進しています。
○重要な経営課題については、労使間で月1回を基本に定期開催している「経営協議会」で検討・協議し、労働組合からの業務の現況を踏まえた提言を受けながら、議論をしています。人事・労務関連の諸制度の運用・改定についても、労使双方の課題認識をもとに十分協議した上で実施しています。



「助け合いのココロ」をお届けしています

CO・OP共済では全国の組合員が折ってくださった折り鶴を、共済金やお見舞金の請求書類に同封しています。小さな折り鶴が、組合員同士のココロをつないでいます。

CO・OP共済 STORY

お世話になった夫と一緒に折り鶴を折りました。

こうち生協 組合員Tさん



※上記は組合員の体験を元に作成しています。

※お支払い内容や共済金請求書類につきましては、ご契約内容・ご請求内容によって異なります。

【CO・OP共済ニュース】



はじまりは 1人の生協職員から

CO・OP共済では、共済金の請求書類をお送りする際に、折り鶴を同封しています。

この取り組みは、1992年頃、コープながのの共済担当職員が、お見舞いの気持ちを折り鶴に託して書類に同封したのが始まりです。

日々、事務的に請求書類を郵送していた職員は、ふと何かもの足りないと思いました。「何か少しでも書類を受け取った方の励ましになることはないか」と思い、千羽鶴にちなんで、お見舞いの気持ちを込めた折り鶴を同封することにしましたのです。」



ありがとうの声



落ち込んでいた心に折り鶴が

台風で床上浸水に遭い、住宅災害共済金がそうそうに振り込まれており本当に助かりました。落ち込んでいた心に折り鶴が届き、「助け合いの気持ち」の大切さをしみじみ感じました。CO・OP共済に入っていて良かったです。組合員同士の助け合い、心からありがたかったです。

※上記は組合員から寄せられた声を掲載しています。お支払い内容や共済金請求書類につきましては、ご契約内容・ご請求内容によって異なります。



広がる 「折り鶴の輪」

その後、この温かいおもいやりの取り組みは、全国の組合員の心に響き、全国的な取り組みへと広がりました。

現在では、共済金を受け取られた方からお礼の折り鶴が届くなど「折り鶴の輪」が広がっています。



「あっ、鶴が入っている!」

請求書に折り鶴が入っていると、嬉しい驚きでした。優しい気持ちが伝わってきて、とても心が温くなりました。今もあの時の気持ちは忘れません。共済金の振込も大変早くてびっくりしました。

励ましが込められている折り鶴

突然のケガで気分が落ち込みましたが、CO・OP共済に本当に救われました。折り鶴もたくさんの方の励ましが込められていて、心あたりました。折り鶴は今も、お守りとして大事にしています。どうもありがとうございました。

明日の暮らし、ささえあう

CO・OP共済

コープ共済センター ご請求窓口

☎0120-80-9431

月～土 / 9:00～18:00 (祝日含む)

※おかけ間違いが発生しております。ご注意ください。

※CO・OP共済の詳しい保障内容は、商品パンフレットをご覧ください。
※CO・OP共済に加入するには、出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になる必要があります。生活協同組合(生協)は、お店や宅配などで暮らしに貢献しています。

契約引受団体 / 日本コープ共済生活協同組合連合会
(たすけあい)はご加入の生協によっては、その生協の加盟する連合会との共同引受になります

CO・OP共済の資料請求はこちら!



コープ共済 検索